

平成28年7月24日  
今週のベストショット



奈多グラウンド 和白新町パイレーツ 対 ソルトベイスターズ戦

強い日差しで熱中症の大濱選手に代わり、小学生以来のマスクを被ることになったパイレーツ八坂選手と、  
念願のベストショット入りの中嶋選手（笑）

写真：レッドサンデーズ 八島久徳

奈多グラウンド 暑くてもしっかり準備、声の出ていたパイレーツが2勝目。

新町パイレーツ （2勝4敗）102500 8 吉田○—大濱、八坂

ソルトベイスターズ（0勝5敗）001110 3 小山●、中村（耕）—酒井

HR：足達、浜田（新町パ）2BH：大濱、浜田（新町パ）盗塁：弥栄2（新町パ）中村（健）

一回表新町パイレーツは、一番弥栄選手がヒットで出ると、すかさず盗塁。送球がそれる間に三塁へ。続く二番八坂選手が中前適時打で、あっさり1点先取。三番足達選手も安打で出塁したが、野球の癖が抜けず離塁アウトのチョンボ。三回表には、三、四番の連続ヒットで一三塁として、五番浜田選手の右中間二塁打で1点。続く六番佐々木選手の遊ゴロの間にもう1点追加。負けじとソルトベイスターズも三回裏、八番森選手、九番荒尾選手の連続ヒットとPBで二三塁として、一番中村（健）選手の中前適時打で1点を返す。しかし、四回表に三番足立選手がHRを放つと、四番大濱選手の遊ゴロをトンネルすると打った大濱選手の激走でホームイン（記録は遊エラー）、続く五番浜田選手にもHRが飛び出し、この回一挙5点追加し試合を決める。その後、ソルトベイスターズも暑さで疲れの出た吉田投手を攻め、四、五回裏に1点ずつ返すもここまで。結局、8対3でパイレーツがとても暑い試合を制した。点差が開き、出番が期待されたパイレーツの自称「補欠コンビ」（田村&中嶋選手）は、激走の大濱選手が熱中症に陥ったため代わって田村選手は出場したものの、チーム1の元気者・秘密兵器中嶋選手は、秘密のまま試合が終わってしまった。（記事：レッドサンデーズ 前田篤史、写真：八島久徳）





パイレーツの切り込み隊長、一番弥栄選手。



先制の二塁打を放ったパイレーツ四番大濱選手。



四回表、左中間にHRを放つ三番足立選手。



右中間へ大きなHRを放つ五番濱田選手。



暑い中、最後まで投げ抜いたパイレーツ吉田投手。



応援のギャルが二人に。力をくれますね。



危うくセンターゴロ、初ヒットの八番森選手。



三回裏、連打でつなぐソルト九番荒尾選手。





三連打で1点を返すソルトー一番中村（健）選手。



熱中症の大濱捕手と代わる八坂選手。



ベンチ外でも明るい田村、中嶋、白岩選手。

### 青松園B 奈多サンデーズ、粘り強い攻撃で辛くも勝利！

塩浜ジャガーズ（3勝3敗） 1 1 0 0 0 0 0 2 内田、荒木●、道喜ー橋村

奈多サンデーズ（5勝1敗） 0 0 0 1 2 0 × 3 砂場○ー土田

HR：川上（奈多サ） 2BH：土田、砂場（奈多サ） 盗塁：橋村（塩浜）、江口、砂場（奈多サ）

ジャガーズは初回、先頭の一番紺野選手が遊撃への内野安打を放ち出塁すると走者を進め二死ながら三塁とする。ここで四番荒木選手が内野安打を放ち、ジャガーズが先制をする。続く二回表にもジャガーズは走者を出すと相手のバッテリーミスで1点を追加する。一方、サンデーズはジャガーズ先発内田投手の好投により三回まで無得点、安打はわずか1本に抑えられており序盤は完全にジャガーズのペースだった。しかし、サンデーズ先発の砂場投手の投球の精度も徐々に上がっていき、三回以降走者は出すものの無失点の好投を見せる。サンデーズは四回裏に五番鳥羽選手の犠飛で1点を返し、続く五回裏には一死二塁から一番川上選手の右中間への本塁打で2点を返し逆転をする。ジャガーズにとっては、打ち取ったかに思えた打球であっただけに痛い追加点となった。結果的にサンデーズにとってはこれが決勝点となり、ジャガーズに辛くも勝利した。

（記事・写真：雁ノ巣ライナーズ 明瀬 旭）





奈多サンデーズ先発砂場投手。



塩浜ジャガーズ先発内田投手。



一回表、ジャガーズ一番紺野選手が内野安打で出塁する。



四回裏、四番江口選手の左前安打でチャンスを広げる。



四回裏、サンデーズ五番鳥羽選手の犠飛で1点を返す。



ジャガーズ二番手の荒木投手も力投する。



この日猛打賞。ジャガーズ一番紺野選手。



五回裏、逆転の2ランを放つサンデーズ一番川上選手。



## 青松園A ウィンズ見事な逆転勝利で今季4勝目！

新町ウィンズ（4勝2敗）101500 7 藤田○ー今林

三苦三球会（1勝6敗）104000 5 吉留●ー藤澤

HR：藤田、桐島（新町ウ） 2BH：桐島（新町ウ） 盗塁：塚達也（三球会）岩田（新町ウ）

一回、両チーム1点ずつを挙げると、二回は両チームの投手が安定を見せ無得点に抑え、このまま投手戦に流れていくかと思われた。が、三回裏に三球会の打線がつながり一挙4点を挙げる。試合の流れが完全に三球会のペースになるも、四回表にウィンズナインが上手く気持ちを切り替え打線がつながり、今日も四番藤田選手、五番桐島選手のアベックアーチで逆転！その後は全員で守り切り、ガッチリと勝利を手にした！

（記事・写真：奈多クラブ 木伏陽一郎）



鋭い振りを見せるウィンズ長岡選手。



ナイスキャッチ！三球会右山一塁手。



見事な送りバントを決めた三球会原口選手。



軽快な守備を見せるウィンズ早田選手。



バウンドがかわり難しいゴロを処理する三球会渡辺選手。



シャープな振り！ウィンズ泉選手。





三塁ゴロを上手く処理する三球会堺達也選手。



盗塁を決めるウインズ岩田選手。



きわどいプレー、ボールがこぼれてセーフ！



見事なライトオーバーのHR！ウインズ藤田選手。

### 雁レク5 ホーネッツ三本のHRで快勝！

三苦ホーネッツ（6勝1敗）15134 14 矢野○、井手一広木

三苦フレンズ（0勝6敗）00100 1 生野●一佐藤

HR：稲葉、三浦、広木（三苦ホ） 生野（三苦フ） 2BH：御手洗（三苦フ）

盗塁：逸見（三苦ホ）、吉村（雄）（三苦フ）

三苦のチーム同士となったこの試合はホーネッツが大量得点でフレンズを下した。ホーネッツは初回、相手のエラーでランナーを出すと三番矢野選手のセンター前タイムリーで1点を先制する。その裏、フレンズは一番吉村（雄）選手がヒットで出塁しその後盗塁を決め無死二塁のチャンスを作るが、あとが繋がらず無得点に終わる。二回表、ホーネッツは相手のエラーで二人ランナーを出すと九番隈崎選手のタイムリー、二番稲葉選手の3ランHRでこの回、5点を追加する。なんとか反撃したいフレンズだが二回裏も無得点に終わる。その後も四番広木選手や三浦選手のHRなどで毎回得点を記録したホーネッツに対し、フレンズはホーネッツの矢野投手、リリーフした井手投手の前に三回裏、生野選手のHRで1点をとることが精いっぱいだった。この試合、ホーネッツはHRという大技だけで攻めるだけでなく、バントや盗塁などの小技を組み合わせバリエーション豊かな攻撃がフレンズの脅威となっていて見事だった。対するフレンズはミスが出てしまいそれが失点につながる場面が見られたことは残念だが、生野選手のHRや御手洗選手の二塁打など見所はあり、うまくかみ合えば他チームの脅威となると感じた。（記事・写真：ブルーマリーナズ 井手翔一郎）





試合前の握手を交わす両チーム監督。



ホーネッツ先発、矢野投手。



一回表、ヒットを打ったフレンズ吉村（雄）選手。



三回裏にHRを放ち迎えられるフレンズ生野（拓）選手。



二回表、HRの稲葉選手を迎えるホーネッツベンチ。



三回裏、二塁打を打ったフレンズ御手洗選手。



ホームラントリオ。右から広木選手、三浦選手、稲葉選手。

## 第11週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

第11週、7月24日は4試合が行われました。

奈多グラウンドの新町パイレーツ対ソルトベイスターズ戦は、とにかくパイレーツの明るさが際立った試合だった。試合後半、吉田投手もさすがにバテてソルトに壘を溜められる場面もあったが、1点ずつに抑えた。一方打線は好調で11安打を放ち9得点。今年加入組が長打力と走力を見せつけた。パイレーツ大濱選手はベース1周が応えたのか、熱中症でマスクを八坂選手に譲ったが大丈夫だったでしょうか？

青松園Bの塩浜ジャガーズ対奈多サンデーズ戦は、先制したジャガーズだったが、同点となった後、勝負どころのチャンスを一番川上選手の2ランで確実にものにしたサンデーズが2-3で勝利。ジャガーズは3打数3安打の一番紺野選手に最後回したかったが、きっちりその前で締めたのはサンデーズの強さか？

青松園Aの新町ウインズ対三苦三球会戦は、三回裏に逆転を許したウインズだったが、四回表に四番藤田、五番桐島選手の連続HRで逆転し7-5で逃げ切った。三球会は3安打を集中した三回裏以外は無安打に抑えられた。

雁レク5の三苦ホーネッツ対三苦フレンズ戦は、初回からホーネッツの打線に火が付き、稲葉、広木、三浦選手の3HR14得点。フレンズは生野選手のソロHRで1点を返すのがやっと。フレンズの1勝はなかなか遠い。

続々と甲子園決定を決めた県予選ですが、福岡県は三連覇を狙う九国大附高校対地元の福工大城東高校の対戦となりました。

WSLにも城東高校出身者がいるでしょうから、是非力になってもらいたい。

本日決勝戦は、目が離せませんね。